

令和4年4月13日  
北沢総合支所

## 世田谷区立北沢区民会館の指定管理者候補者の選定について

### (付議の要旨)

令和5年4月からの世田谷区立北沢区民会館の指定管理者候補者について、下記のとおり選定する。

#### 1. 主旨

世田谷区立北沢区民会館の指定期間が令和5年3月で終了することから、令和3年3月までの指定管理者制度適用の効果等を検証し、世田谷区立区民会館条例(以下「条例」という。)に基づき、令和5年4月からの指定管理者の候補者を選定する。

#### 2. 指定管理者制度を適用する施設

- (1) 施設名 世田谷区立北沢区民会館(北沢タウンホール)
- (2) 所在地 世田谷区北沢二丁目8番18号

#### 3. 指定期間

5年間(令和5年4月1日～令和10年3月31日)

#### 4. 選定体制

##### (1) 選定委員会の設置

世田谷区区民集会施設等指定管理者選定委員会設置要綱に基づく選定委員会にて選定する。

##### (2) 選定委員会の所掌及び構成

現在の指定管理に係る評価、指定管理者候補者選定方法等を審議し、指定管理者の候補者を選定する。選定に係る経過及び結果について報告書を作成し、速やかに区長に報告する。

構成は、学識経験者を含む外部委員5名と、区職員2名とする(別紙参照)。

#### 5. 現在の指定管理の状況等

##### (1) 指定期間と指定管理者

5年間(平成30年4月1日～令和5年3月31日)  
株式会社 世田谷サービス公社

##### (2) 選定委員会による評価

選定委員会による現指定管理者の評価を実施した。

選定委員会では、平成30年度～令和2年度のモニタリングの評価結果なども踏まえ、新型コロナウイルスによる影響を受けながらも、概ね適正に運営されていると評価された。一方で、自主事業の採算が取れていないとの課題が挙げられているため、次年度の運営に向けた改善を行うよう指導する。また、次期指定管理者候補者の選定の際に、利用率向上のための工夫及び区民ニーズに合った自主事業の実施といった改善の視点を取り入れていくと共に、新型コロナウイルスの影響に対する取組みや、SDGsへの取組みについても確認していく。

評価分類	評価結果説明
<b>【個別評価】</b>	
1. 施設の維持管理	日常の清掃や軽微な修繕等、適切な維持管理に努めている。
2. 施設の運営	新型コロナウイルスによる影響や自主事業の運営について課題があるが、適正に運営されている。
3. 事故や緊急時等への対応	日頃から事故防止や災害時の対応など積極的に取り組んでいる。
4. サービス向上の取組み	窓口接遇の向上について研修を行う、利用者へのアンケート強化月間を設けるなど、サービス向上に取り組んでいる。苦情がゼロとなっているが、意見や要望をいただくこともあるはずであり、今後はその点も把握することが望ましい。
5. 収支状況	収支面では、改修工事後に落ち込んだ利用率の改善や、赤字が続いている自主事業の企画内容・集客の改善について取り組んでいた。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策による休館・時短営業、利用者の減少等の影響により、令和2年度の収支のバランスは厳しい状況となっているが、適切な対応に向け、努力してきている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、休館・時短営業等にかかるキャンセル料の補填、利用の低下に伴う利用料金減収分の補填を行っている。
6. 改善の取組み	利用率の低い夜間枠の活用や立地条件を生かした利用などの面においては改善・工夫が望まれる。
<b>【総合評価】</b>	
<p>新型コロナウイルスの影響により施設利用率が落ち込んではいいるが、概ね適正に運営されていると評価できる。しかし、自主事業の赤字が続いていることについて工夫の必要がある。</p> <p>次期指定管理者候補者の選定については、民間事業者の創意工夫による利用率の向上や二</p>	

ーズに合った自主事業の実施など経営努力によるサービスの向上が見込まれることから、引き続き指定管理者制度を適用し、指定期間を5年間として公募により選定するのが望ましい。

**【実績評価の反映】**

実績評価の反映として、年度評価3年間分の配点数に対する合計点数の割合が73.1%であったため、「世田谷区指定管理者制度運用に係るガイドライン」に沿って、現在の指定管理者が応募する場合の加点・減点を行わない方向とし、最終的には年度評価4年間分の結果を踏まえて加点・減点を決定する。

6. 指定管理者制度導入の理由

世田谷区立北沢区民会館では、管理業務運営や清掃・保守管理、利用者ニーズへの迅速な対応等、施設の効果的な運営を図ることができた。区民のニーズに合った自主事業を実施する等、民間事業者の創意工夫による提供サービスの向上により、利用者へのサービスの向上が期待できることから指定管理者制度を継続する。

7. 選定方法等

(1) 選定方法

選定委員会における審議結果等を踏まえ、条例第7条第1項の規定により、指定管理者の候補者を公募により選定する。

(2) 選定基準

条例第7条第3項に定める選定基準に基づき選定を行う。

区民会館に関する業務を十分に行う能力及び実績を有していること。

区民会館の効用を最大限に発揮させることができること。

区民会館の管理を効率的かつ安定的に行う能力を有していること。

8. 今後のスケジュール(予定)

令和4年4月	区民生活常任委員会報告(選定)
5月	公募開始
6月~	選定期間
9月	区民生活常任委員会報告(選定結果) 第3回区議会定例会
令和5年4月	次期指定管理者による管理開始

別紙

## 令和3年度世田谷区区民集会施設等指定管理者選定委員会委員名簿

(五十音順)

区分	氏名	役職等
外部委員	後藤 範章	日本大学文理学部社会学科教授
	境 新一	成城大学経済学部教授
	塩田 尚人	健康文化研究所代表
	西崎 守	砧地域町会・自治会連合会会長
	吉竹 恒詞	東京税理士会北沢支部
内部委員	舟波 勇	地域行政部長
	清水 昭夫	世田谷総合支所長

## 令和4年度世田谷区区民集会施設等指定管理者選定委員会委員名簿(予定)

(五十音順)

区分	氏名	役職等
外部委員	垣内 恵美子	政策研究大学院大学名誉教授
	境 新一	成城大学経済学部教授
	塩田 尚人	健康文化研究所代表
	西崎 守	砧地域町会・自治会連合会会長
	吉竹 恒詞	東京税理士会北沢支部
内部委員	舟波 勇	地域行政部長
	木本 義彦	北沢総合支所長